

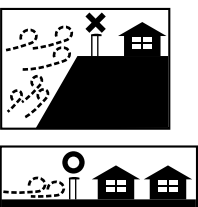
■施工される方へお願い

- この説明書は施工完了後、施工主様へお渡しください。
- 本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意…取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

- 製品破損による人への被害、物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
- タイプの選び方**
- 積雪量に応じて各タイプを用意してあります。下記の基準をもとにお選びください。
一般地域用600形…積雪20cm以下の地域
特殊地域用1500形…積雪50cm以下の地域
- 設置条件**
- 母屋の屋根からの雪が直接あたらない場所に設置してください。落雪により製品が破損するおそれがあります。
- 本製品は地上に取り付ける設計となっております。2階以上の高所に取付けると強風により製品が破損するおそれがあります。
- 柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
- 崖上などの高低差のある場所には設置しないでください。
- 風当りの強い場所及びサイドスクリーンを付ける場合は、風にあおられない向きに取り付けてください。（前枠を建物側に向けて設置してください。）
（例1）：丘陵地
（例2）：丘畑・野原・風を妨げる物のない平地に隣接した場所や海岸沿い等
- 部材の固定**
- タッピンねじの下穴は、指定された下穴より太いドリルを使用しないでください。
- 組立てねじ・ボルトは必ず指定のものを使用してください。又、使用中緩まぬように締め付けてください。
- 施工時の足場について**
- 施工時はしっかりと足場を設け、転落などの危険がないよう注意してください。

▲注意



- 基礎について**
- 基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- 地下埋設物（給排水管など）に影響を及ぼさないようご注意ください。
- 寒冷地では凍土のおそれのある地域に取り付ける場合には、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- 基礎には海砂及び急結剤・凍結防止剤を使用しないでください。柱が腐食するおそれがあります。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないようご注意ください。
- 柱には水抜き穴をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- 絶縁処理について**
- アルミ材が垂鉛・ステンレス以外の金属と接触する時は、絶縁処理をしてください。
- 屋根パネルについて**
- 屋根パネルは当社指定の製品をご使用ください。
- 施工について**
- みだりに改造・変更（階段屋根・母屋への取付け・四周の囲い等）をしないでください。
- 取付けは専門業者の方が行なってください。専門知識がない方が施工されますと不具合発生の原因となる場合があります。
- シーリング指定箇所には必ずシーリング材を充て込んでください。
- 水平・垂直は正確に測ってください。直角が出ていないと施工に支障がでるおそれがあります。
- 当社指定の付属品以外は取り付けしないでください。

■お施主様へお願い

▲注意

- 屋根の上には絶対にのらないください。転落するおそれがあります。
- 積雪時には、下記積雪量を基準に雪下ろしをしてください。製品破損による被害のおそれがあります。
一般地域用600形…積雪20cm以下
特殊地域用1500形…積雪50cm以下
雪の重さは雪の状態により大きく変化します。特に春先の雪は重く降雨や湿雪の後などは新雪に比べ3倍位の重さになります。
※積雪量1cmあたり3kg/m²（比重0.3）で算出しています。
（雪おろしの際、絶対に水をかけないでください。雪がさらに重くなります。）

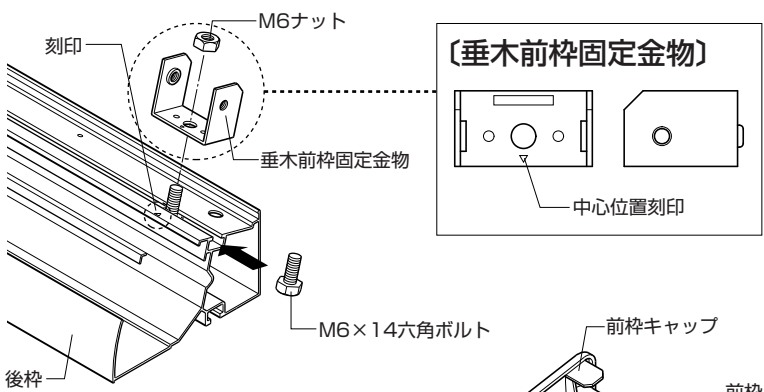
お 願 い

- 当社指定の付属品以外は取り付けしないでください。
- 屋根の上に物をのせないでください。
- ボルト・ナット・ねじ等は絶対に緩めないでください。
- 雪おろしの際、金属製のスコップ等を使用すると屋根材が割れたり傷つく原因になります。プラスチック製のスコップ等で静かに行なってください。

■取付け順序

1 垂木前枠固定金物の取付け

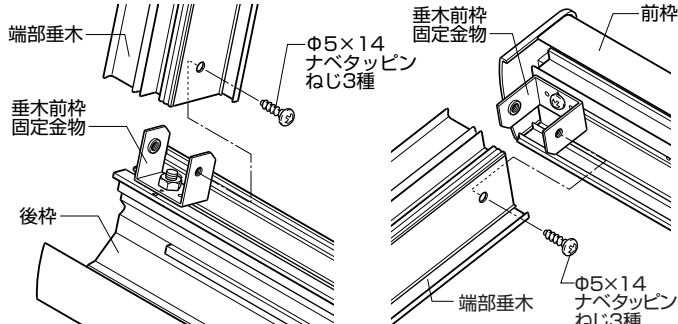
①後枠の上部ボルトホールにM6のボルトを挿入します。（垂木1本につき、ボルト1本。）次に、垂木前枠固定金物の中心位置刻印と前枠の刻印を合わせてボルトで固定します。



②前枠キャップのナット穴にM6ナットをはめ込み、前枠キャップを前枠端部に取付けます。次に、垂木前枠固定金物をねじ止めします。

3 端部垂木の取付け

①端部垂木を垂木前枠固定金物に固定します。



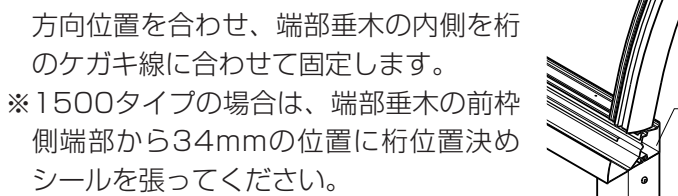
4 中間垂木の取付け

①中間垂木を垂木前枠固定金物と前枠に固定します。



5 野縁の取付け

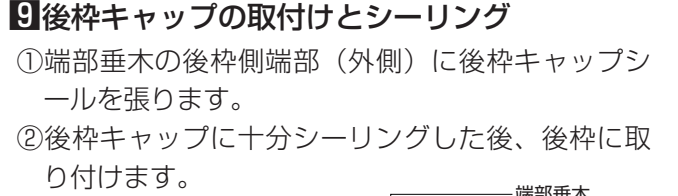
①真中のスパンから順にねじ止めします。



6 桁の取付け

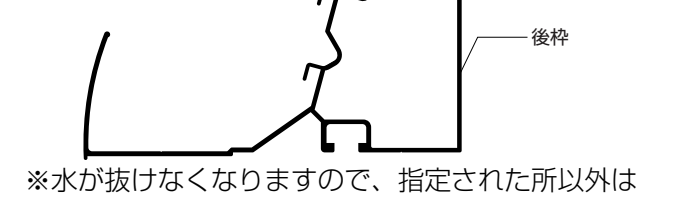
①桁の上部ボルトホールにM6ボルトを挿入します。
②端部垂木の桁位置決めシールに桁の奥行方向位置を合わせ、端部垂木の内側を桁のケガキ線に合わせて固定します。
※1500タイプの場合は、端部垂木の前枠側端部から34mmの位置に桁位置決めシールを張ってください。

③桁の端部に桁キャップをはめ込みます。



7 パネルカバーの取付け

①パネルカバーを右図の位置にねじ止めします。
※必ず嵌合していることを確認してください。

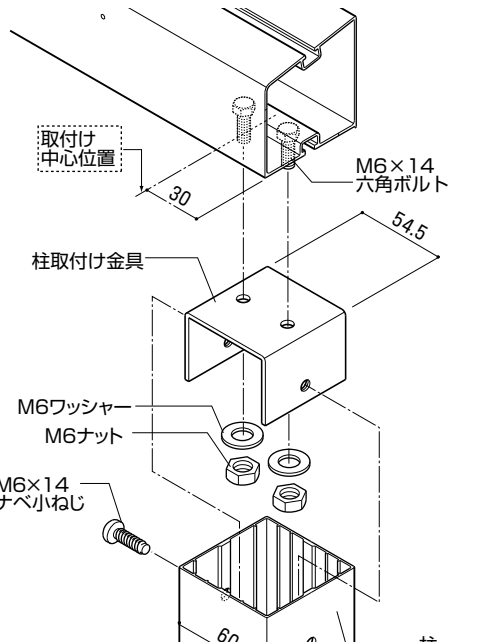


※水が抜けなくなりますので、指定された所以外はシーリングしないでください。



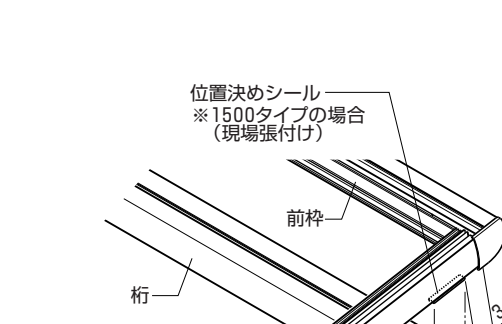
2 柱・桁・後枠の取付け

①桁（後枠）の下部ボルトホールにM6ボルトを挿入し、柱固定金物を固定します。
②柱固定金物に柱をねじ止めします。



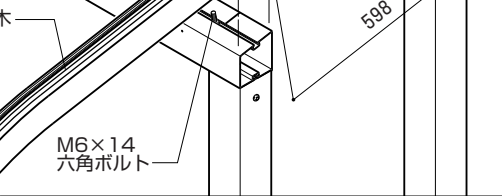
11 屋根パネルの取付け

①屋根パネルにグレチャンを取り付け、図のように前枠とパネルカバーに取り付けます。



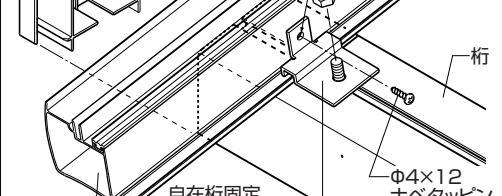
12 シーリング処理

●下図の箇所をもちろんシーリングしてください。



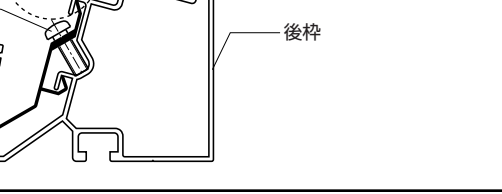
13 柱基礎

①柱埋め込み穴をコンクリート（又はモルタル）で埋めてください。
※地下埋設物（吸水管など）に影響を及ぼさないようご注意ください。
※コンクリート（又はモルタル）に急結剤・凍結防止剤は使用しないでください。
※海砂はアルミを腐食させるおそれがありますので、十分水洗いしたものを御使用ください。
※必ず水抜き穴をあけてください。



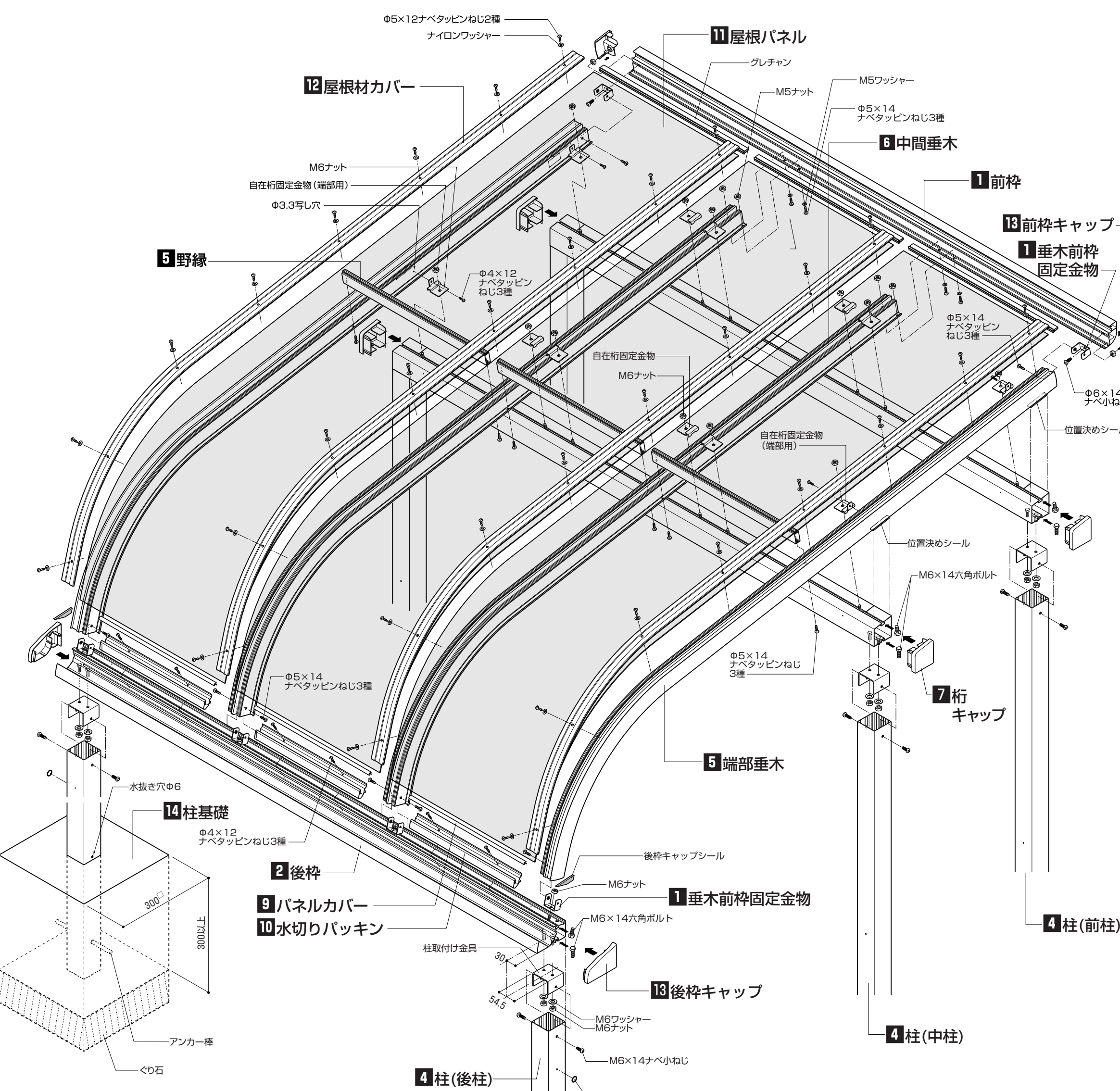
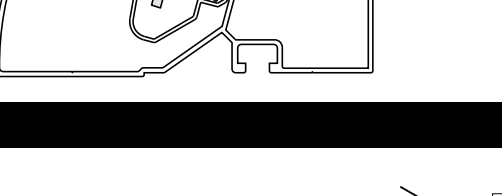
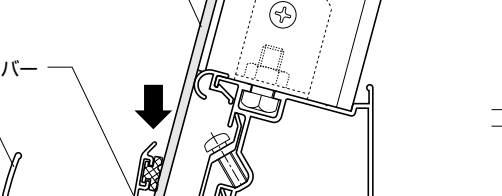
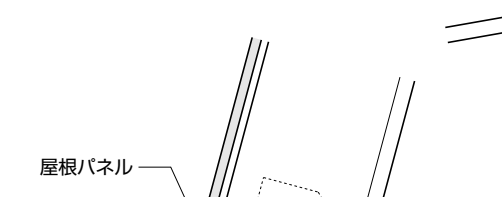
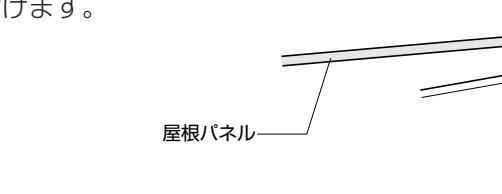
14 柱基礎

①柱埋め込み穴をコンクリート（又はモルタル）で埋めてください。
※地下埋設物（吸水管など）に影響を及ぼさないようご注意ください。
※コンクリート（又はモルタル）に急結剤・凍結防止剤は使用しないでください。
※海砂はアルミを腐食させるおそれがありますので、十分水洗いしたものを御使用ください。
※必ず水抜き穴をあけてください。



15 屋根材カバーの取付け

①垂木との位置を確認してねじ止めします。



■連結タイプの場合

1 連結部の取付け

①前枠・桁・後枠の連結部を加工し、ポンチ位置にφ5.5の穴をあけます。
※端部側のポンチ位置には穴をあけないでください。

②連結部にシーリング材を充て込んでください。

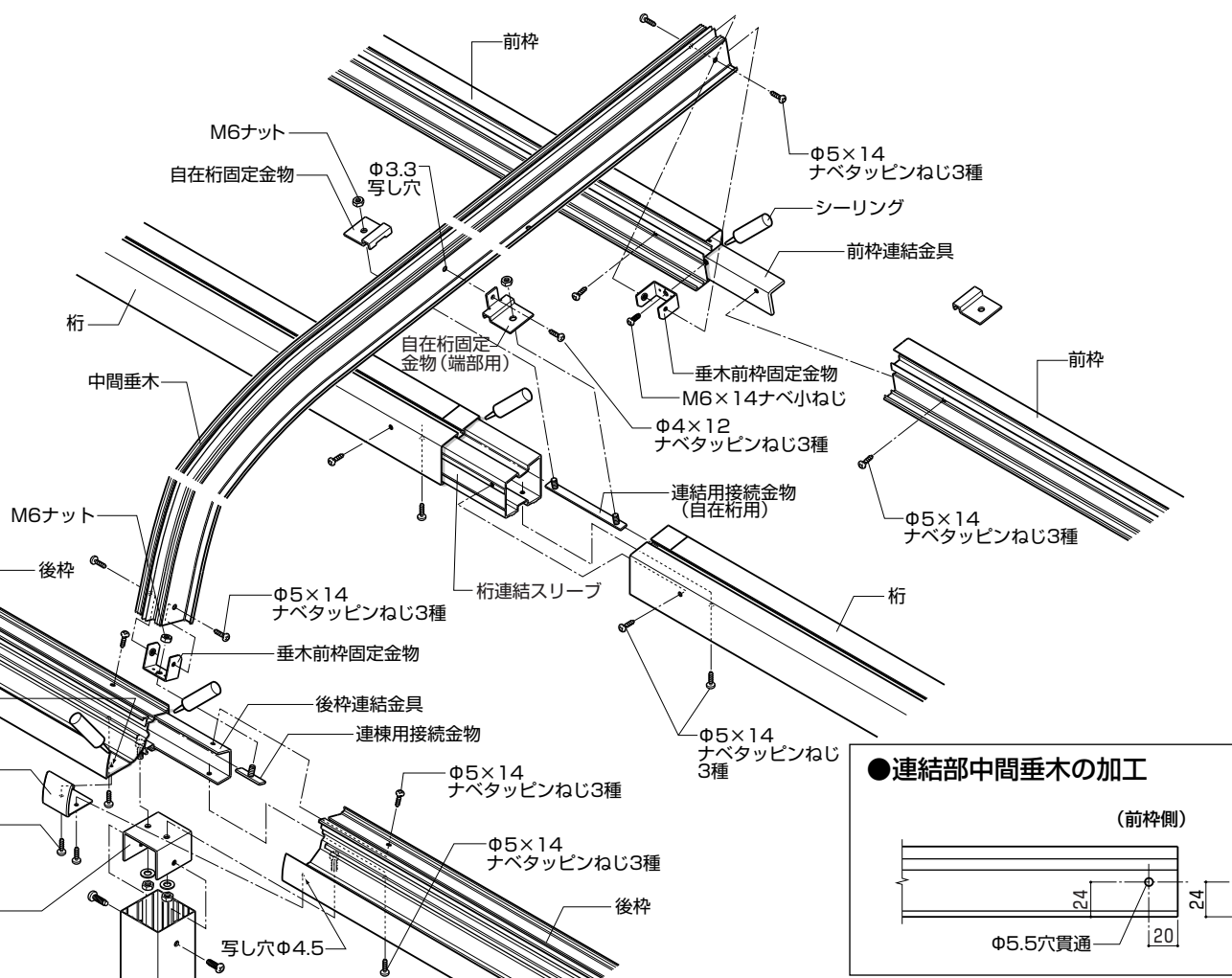
③前枠連結金具と前枠、後枠連結金具と後枠、桁連結スリーブと桁を固定します。

④後枠連結部に後枠連結金具をねじ止めします。
※連結部には垂木と柱が取り付けます。

※連結の際、柱は連結部への取付けを基本としますが、やむを得ない場合は、移動しても差し支えありません。

⑤連結部の中間垂木にφ5.5の貫通穴をあけ、前枠・後枠に取り付けます。

※連結部以外の取付けについては基本タイプを参照してください。



■シーリング箇所

※連結部には必ずシーリングで処理してください。

●前枠部

●桁部

●後枠部

●連結部中間垂木の加工

（前側側）

φ5.5穴貫通

φ5.5穴

φ5.5穴

φ5.5穴

φ5.5穴

■現場加工図

※破線部は現場切断

●前枠

●桁

●後枠

●連結部

●連結部

●連結部

●連結部

●連結部

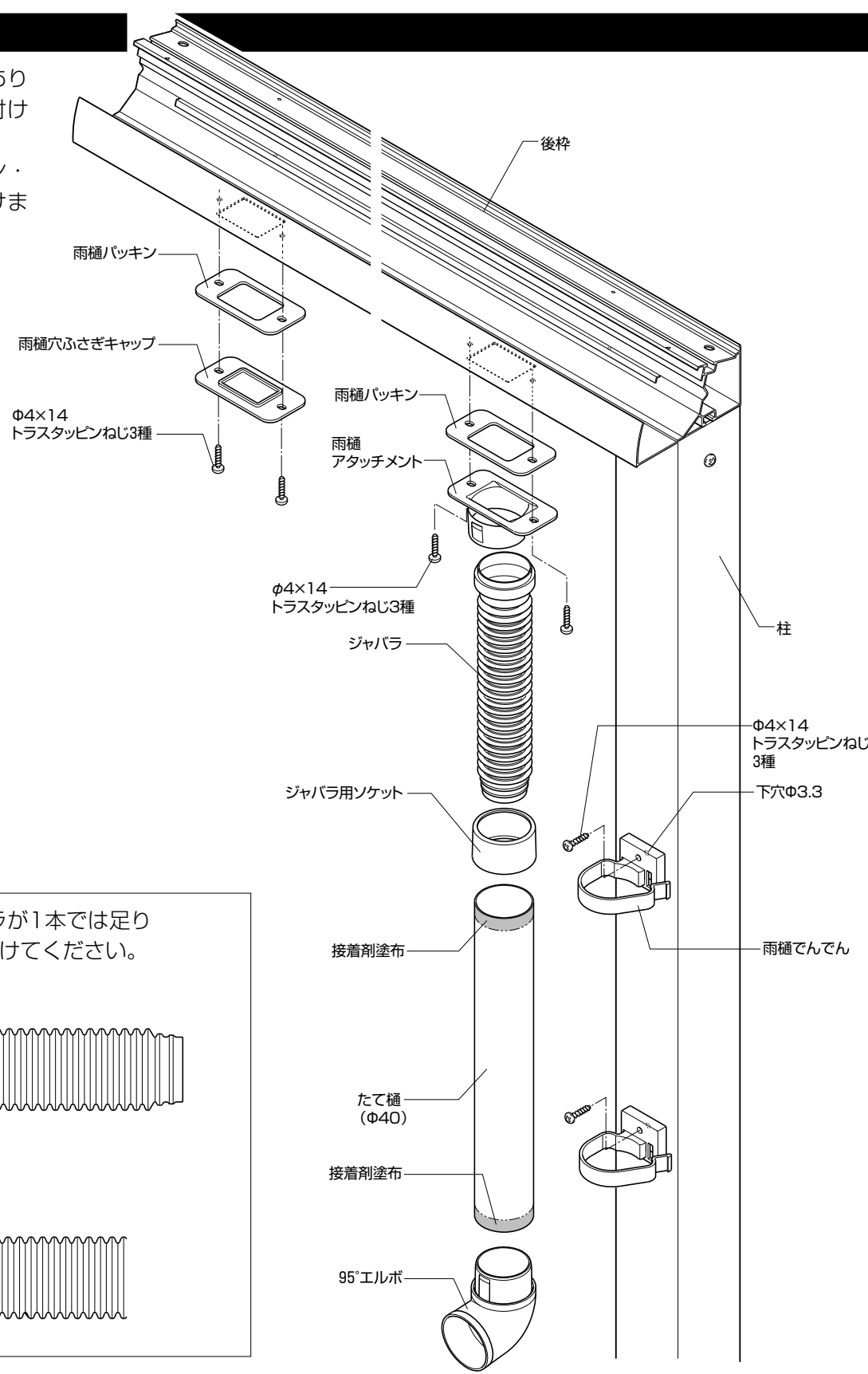
●連結部

●連結部

●連結部

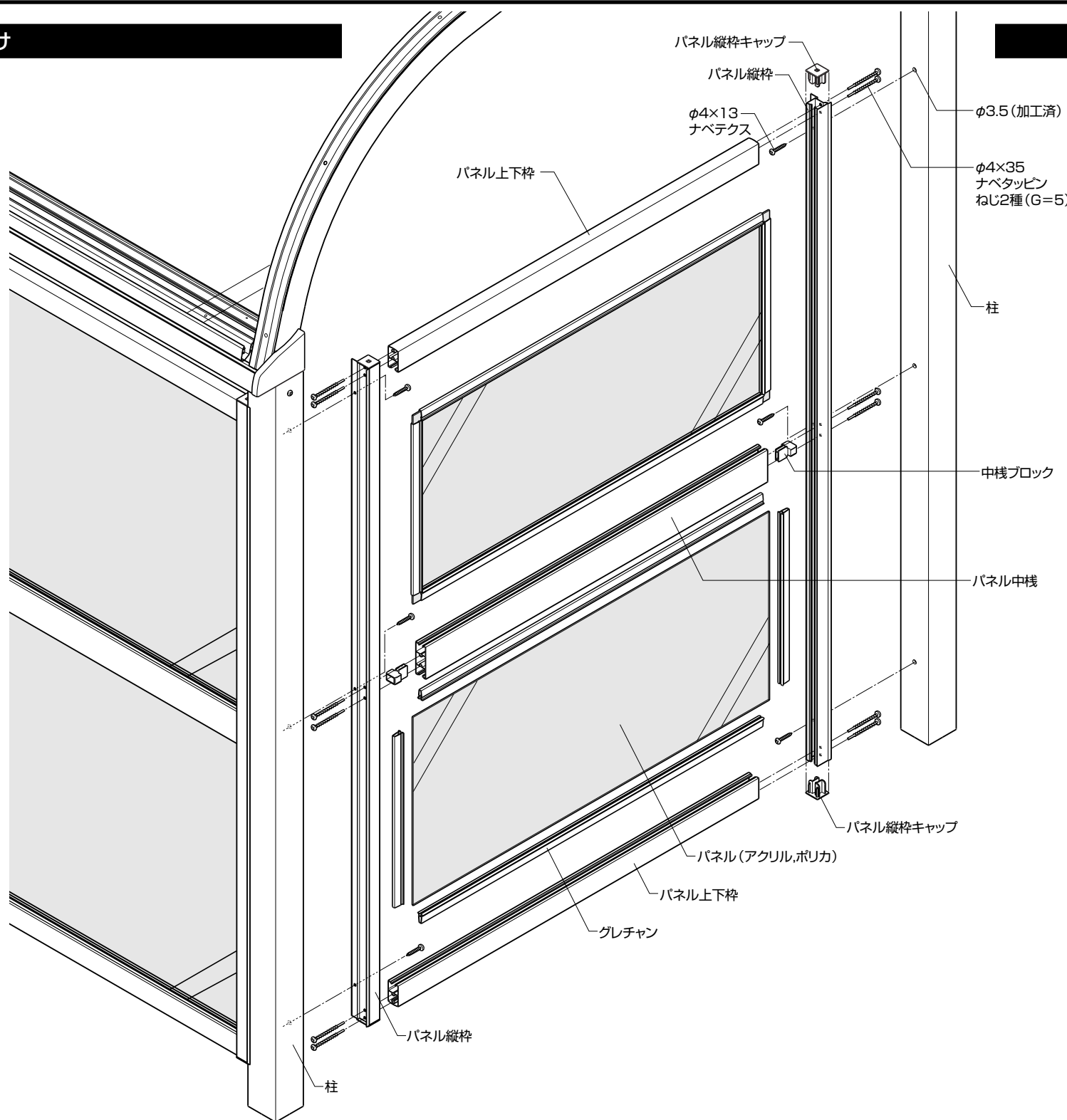
■雨樋の取付け

- ①後枠の両端に水抜き穴加工がしてあります。片方に雨どいセットを取り付けます。
- ②もう一方の穴には、雨どいパッキン・雨どい穴ふさぎキャップを取り付けます。



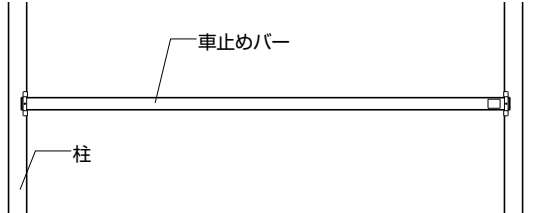
■サイドスクリーン（パネル）の取付け

- ①パネル縦枠の上下にパネル縦枠キャップを取り付けます。
- ②中様の両端に中様ブロックを取り付けます。
- ③パネルにグレチャンを取り付けます。
- ④パネルを入れて枠を組みます。
- ※グレチャンを枠に押し込んでほめてください。
- ⑤柱の穴（加工済）に上部取付け穴を合わせてねじ止めします。
- ※1500タイプに、取り付ける場合、中柱には上部取付け穴があいていませんので、前柱側の穴位置に合わせて取り付けてください。

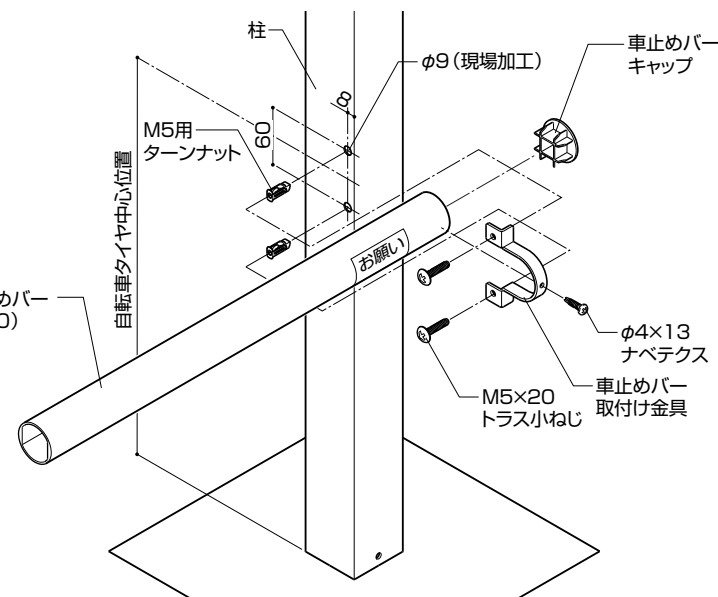
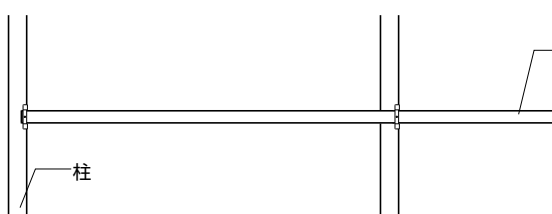


■車止めカバーの取付け

●L17タイプ

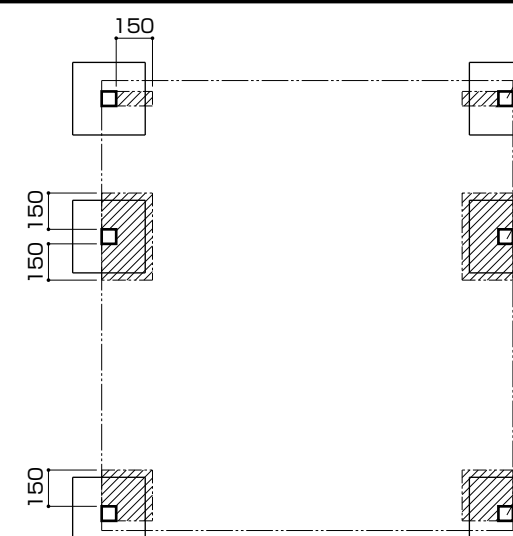


●L25タイプ



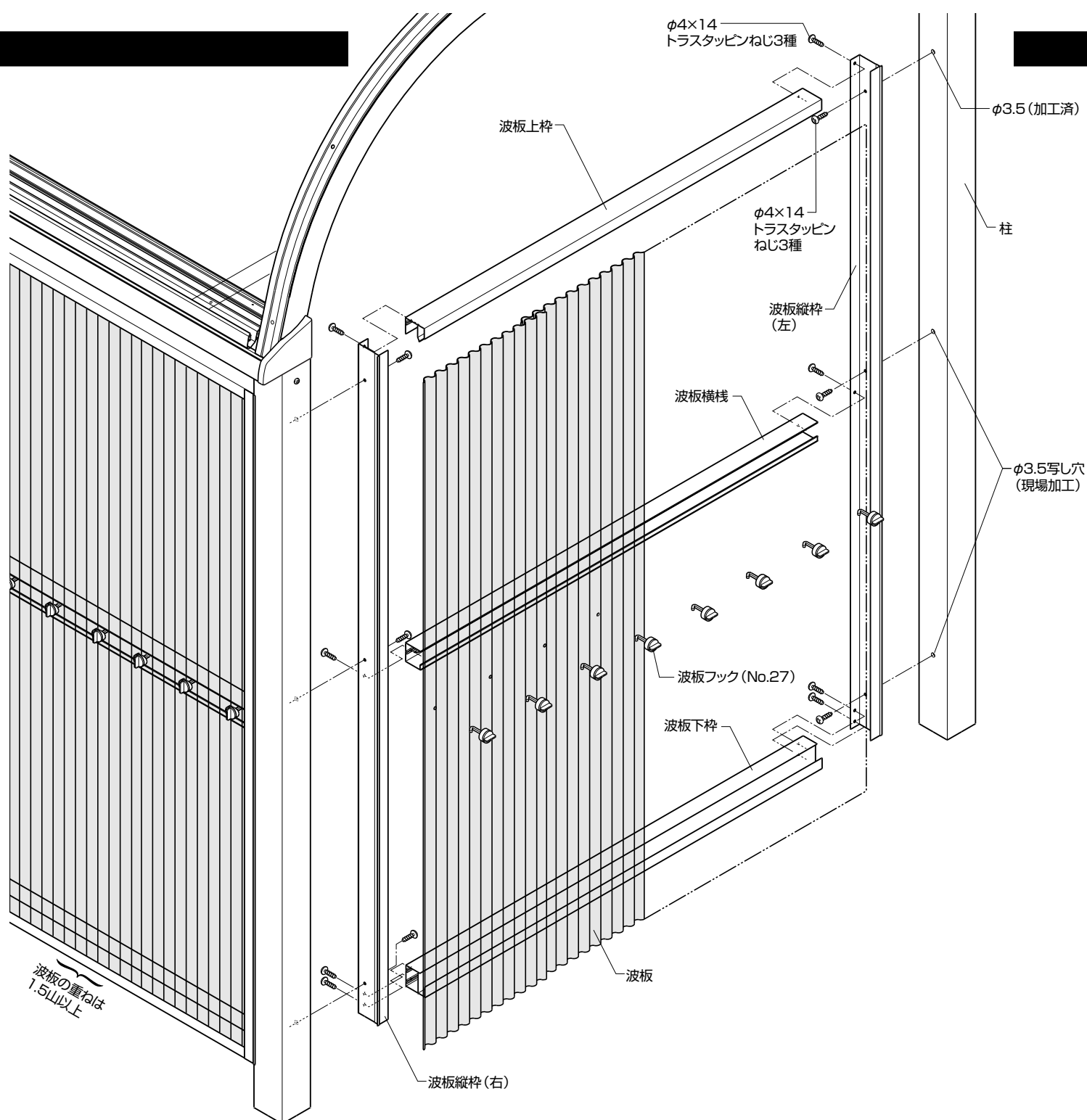
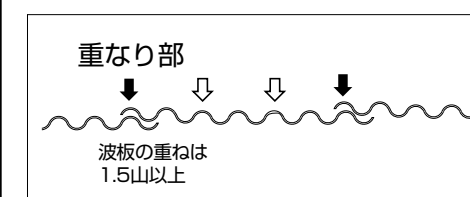
■柱の移動範囲

- 障害物等があり、柱を移動する必要がある場合は、150mmの範囲で行ってください。



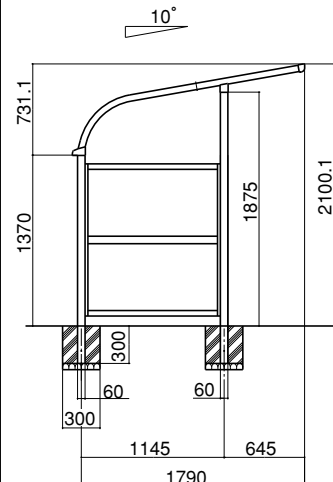
■サイドスクリーン（波板）の取付け

- ①枠を取り付けます。（縦・上下枠）
- ※柱への取付けの写し穴はφ3.5より太いドリルを使用しないでください。保持力が低下します。
- ②波板をセットし、波板フックで取り付けます。
- ※波板横桎に沿って、波板の重なり部と中央の4ヶ所に穴をあけて、波板フックで止めてください。

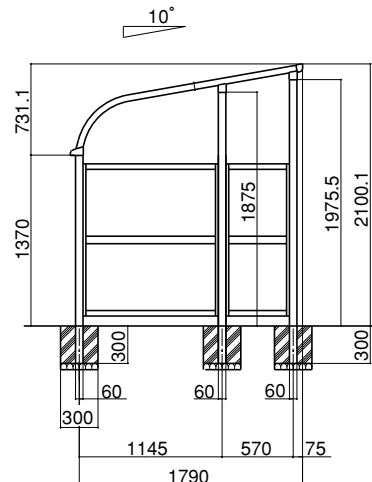


■姿 図

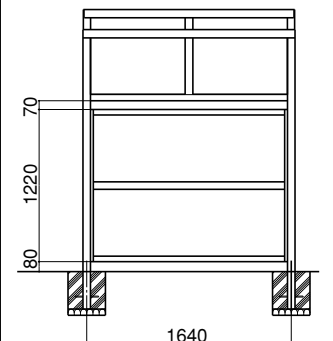
●600タイプ



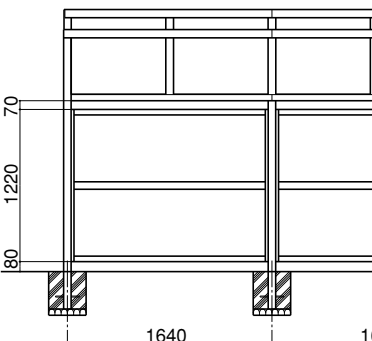
●1500タイプ



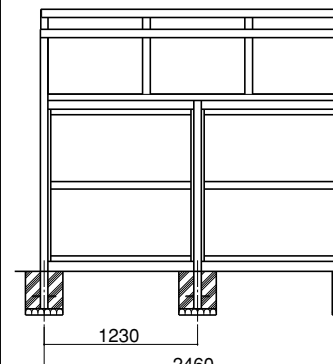
●L17タイプ単体



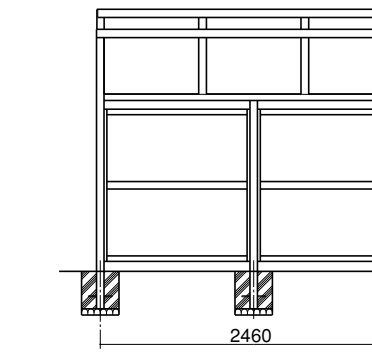
●L17タイプ2連棟



●L25タイプ単体



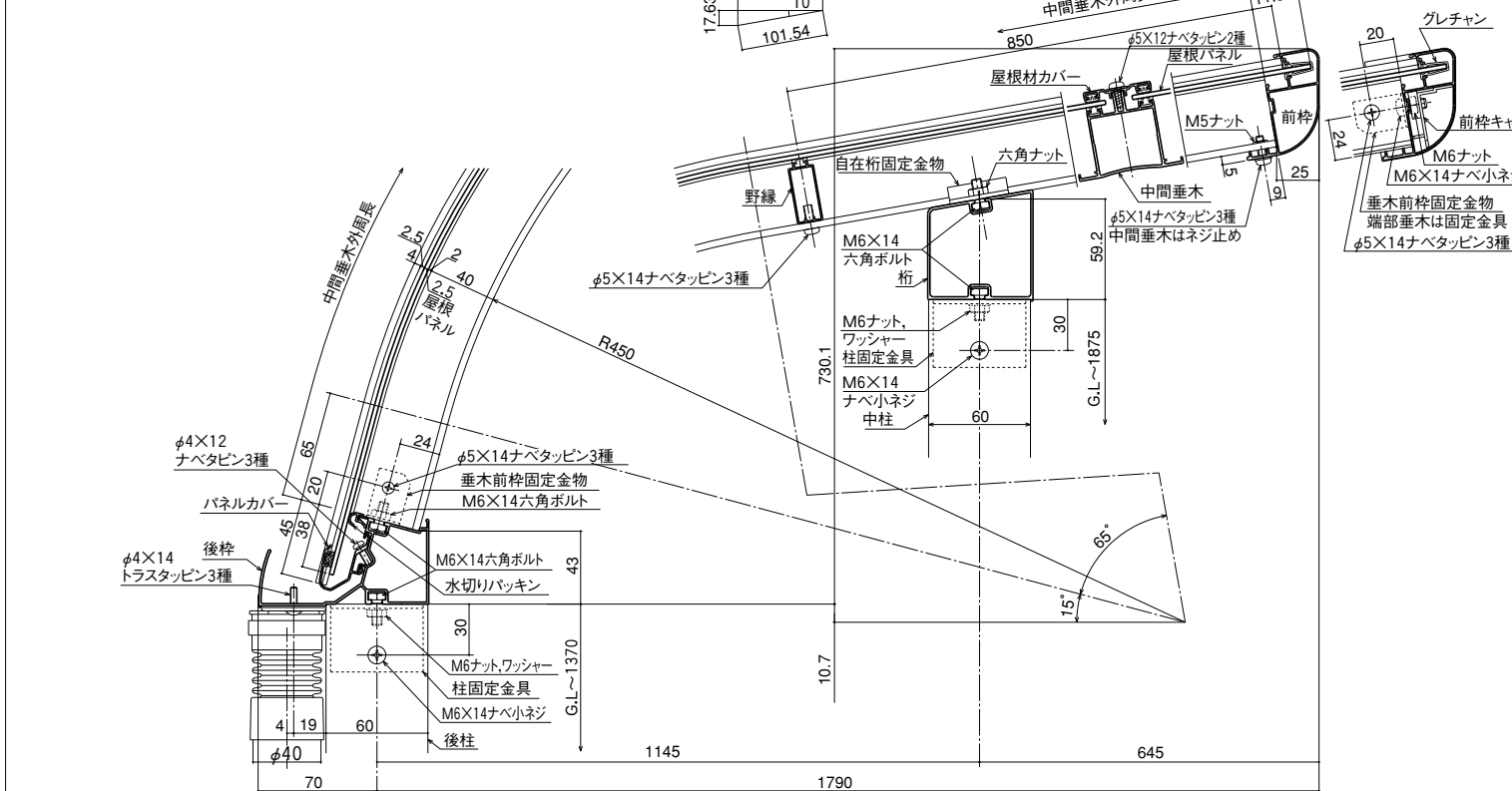
●L25タイプ2連棟



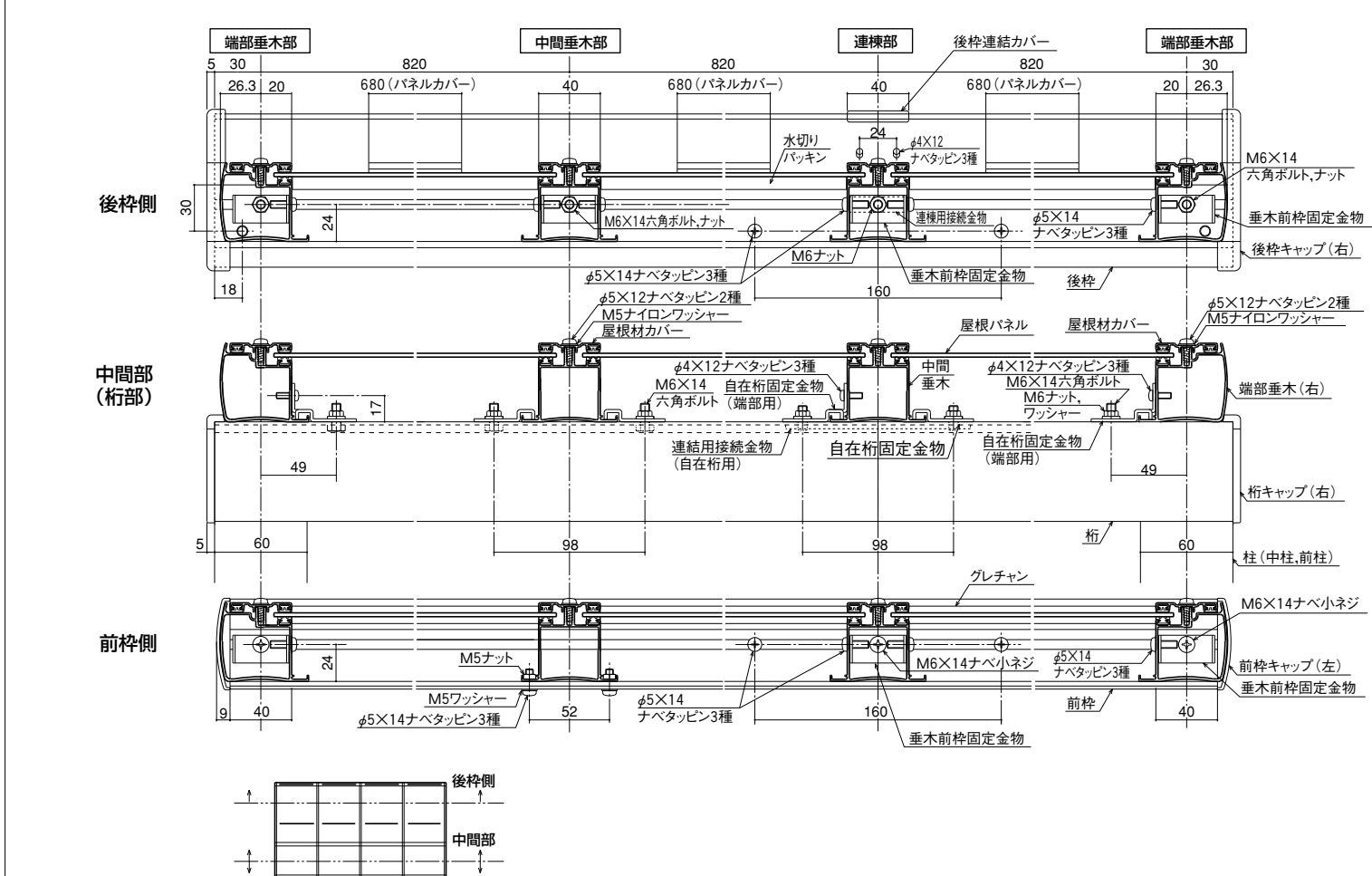
■基本図

〔600タイプ〕

●縦断面図

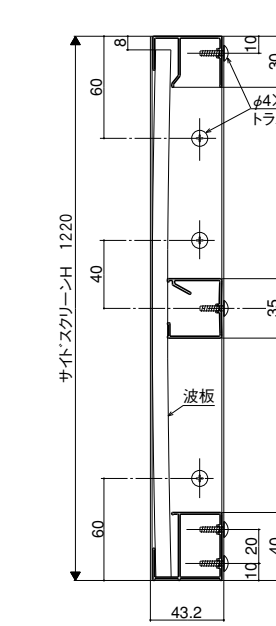


●横断面図

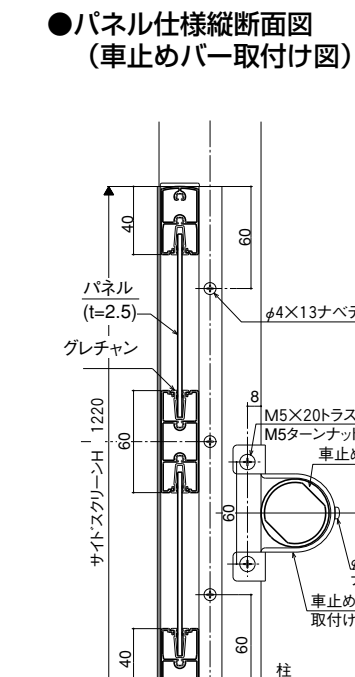


〔サイドスクリーン〕

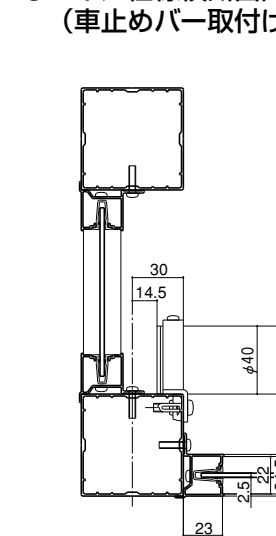
●波板仕様縦断面図



●パネル仕様縦断面図（車止めバー取付け図）



●パネル仕様横断面図（車止めバー取付け図）



（壁付け物干し）

